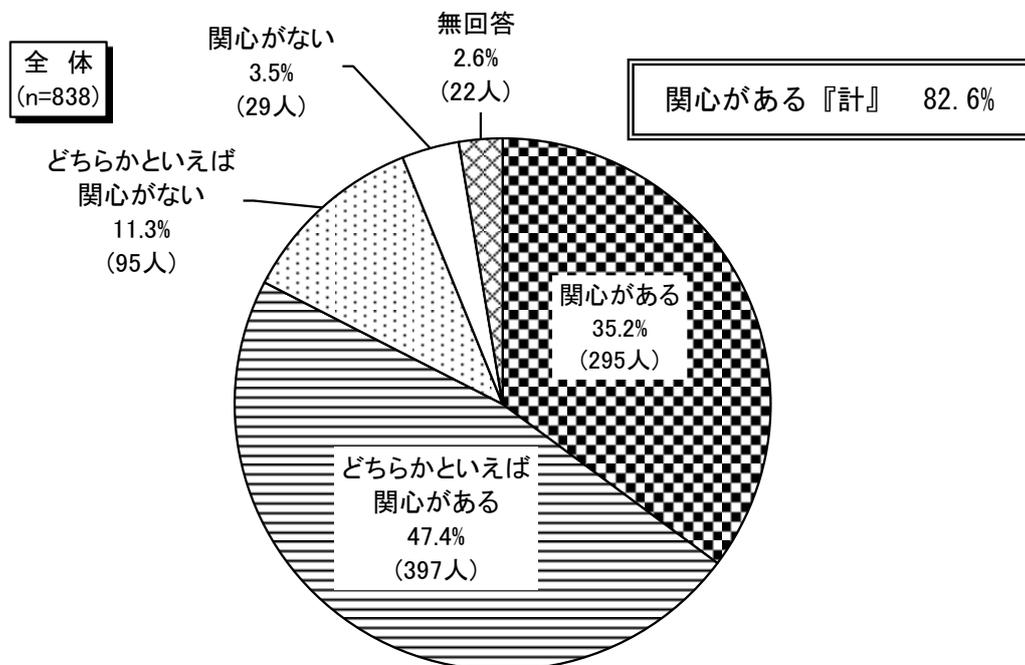


9. 食育について

(1) 食育※の関心度

問 18 あなたは、「食育」に関心がありますか、それとも関心がありませんか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。



食育の関心度について「関心がある」(35.2%)と「どちらかといえば関心がある」(47.4%)を合わせた『関心がある』計(82.6%)の割合は、8割強を占めている。

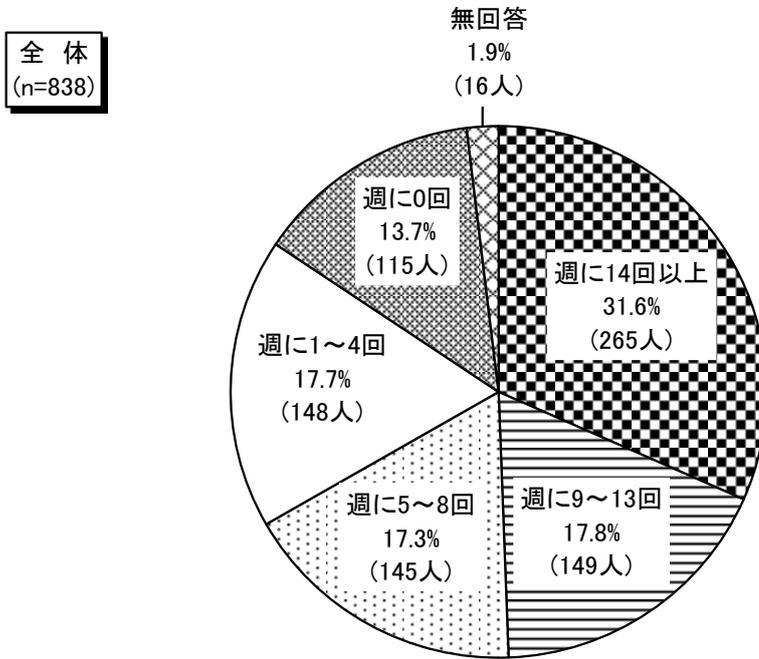
一方、「関心がない」(3.5%)と「どちらかといえば関心がない」(11.3%)を合わせた『関心がない』計(14.8%)の割合は、1割強にとどまっている。

※【参考】食育とは

食育(しょくいく)とは、2005年に成立した食育基本法においては、「生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの」と位置づけられており、様々な経験を通じて、食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。

(2) 共食の頻度

問 19 朝食及び夕食を複数人でコミュニケーションをとりながら食べることはどのくらいありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



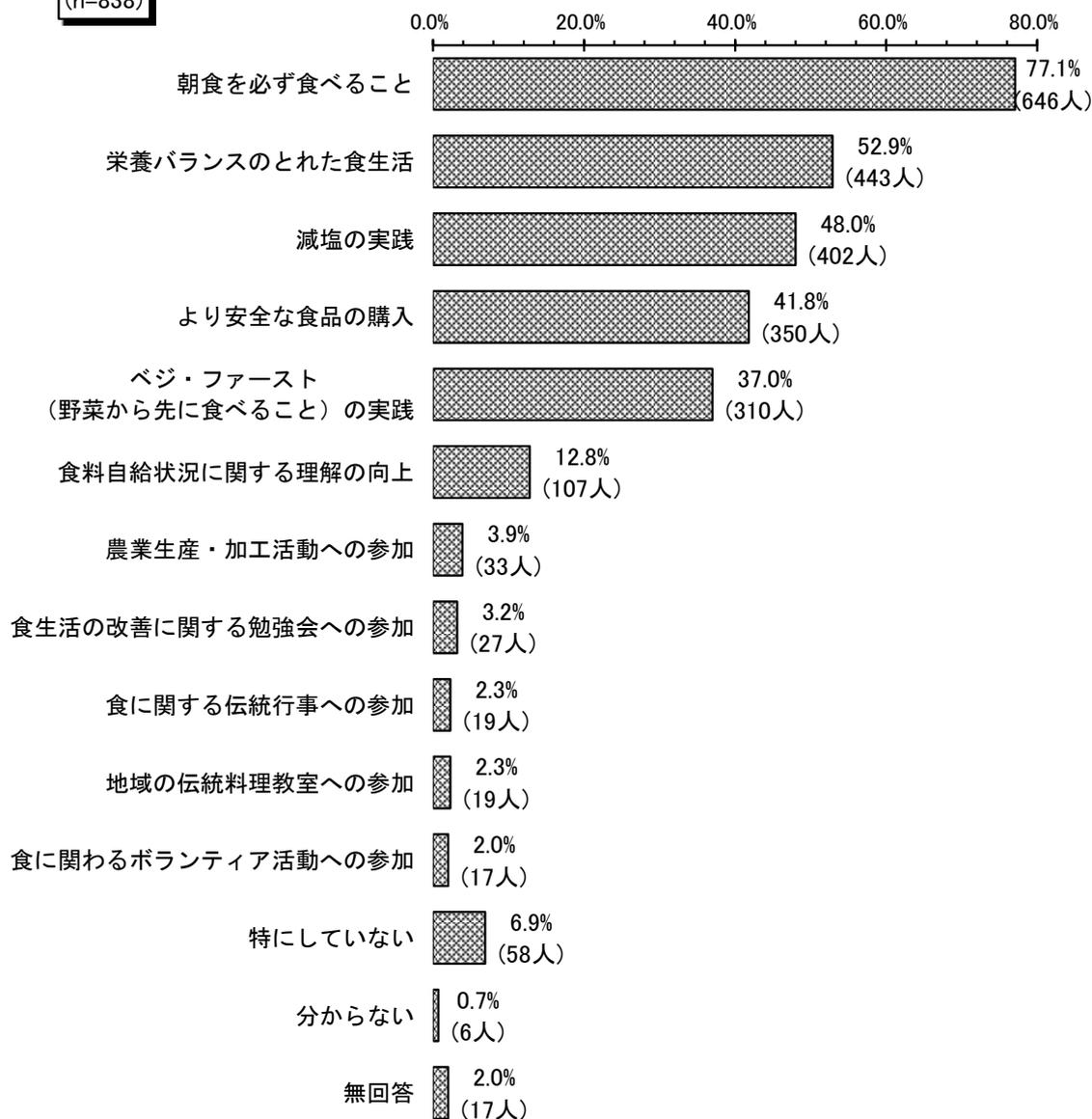
共食の頻度は「週に14回以上」(31.6%)が最も多く、約3割となっている。次いで、「週に9~13回」(17.8%)、「週に1~4回」(17.7%)、「週に5~8回」(17.3%)が2割弱で拮抗している。

(3) 実践している食育に関する活動

問 20 あなたは、日ごろから健全な食生活を行うために「食育」に関する活動や行動を実践していますか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

全体
(n=838)

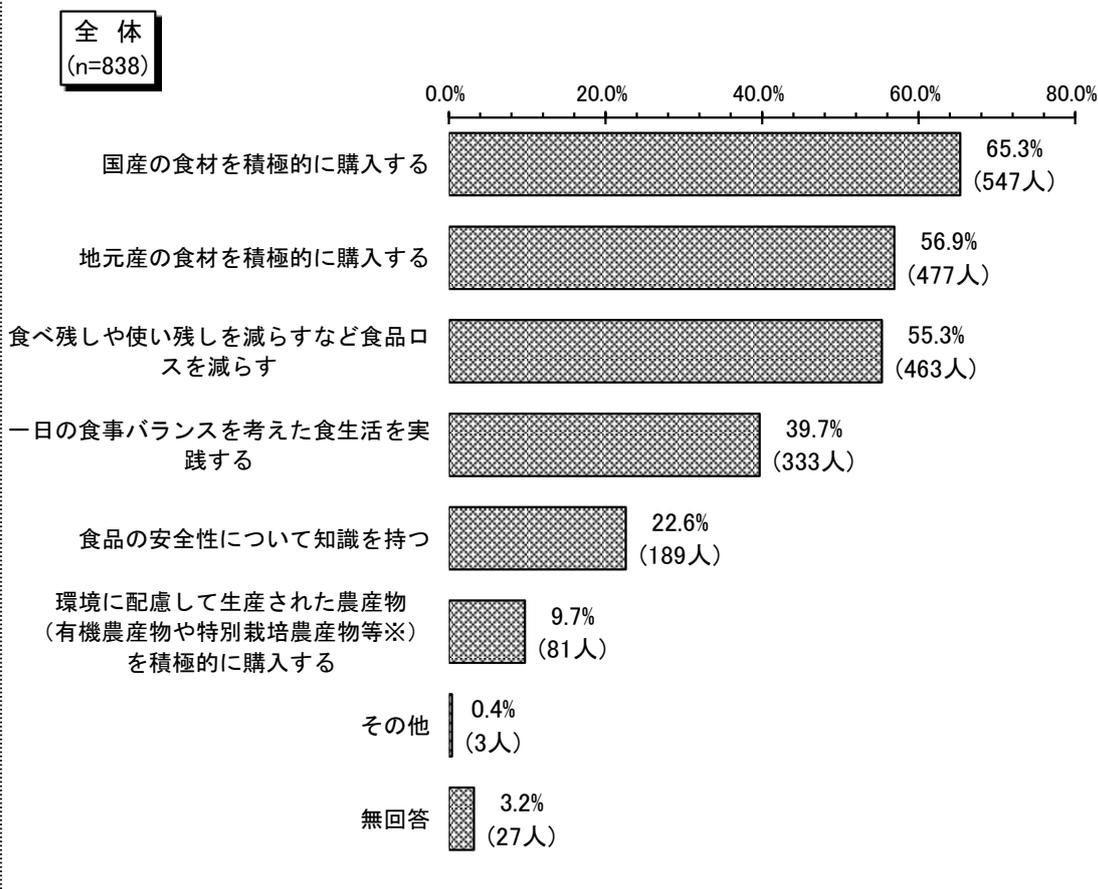


実践している食育に関する活動は、「朝食を必ず食べること」(77.1%)が最も多く、8割弱を占めている。以下、「栄養バランスのとれた食生活」(52.9%)が過半数、「減塩の実践」(48.0%)が約半数、「より安全な食品の購入」(41.8%)が約4割、「ベジ・ファースト(野菜から先に食べること)の実践」(37.0%)が4割弱などとなっている。

10. 農林水産業について

(1) 農林水産物の購入や食生活で実践していること

問21 普段、あなたが農林水産物の購入や食生活において、以下の行動のうち実践しているまたは実践したいと考えていることはありますか。
あてはまるものに3つまで○をつけて下さい。



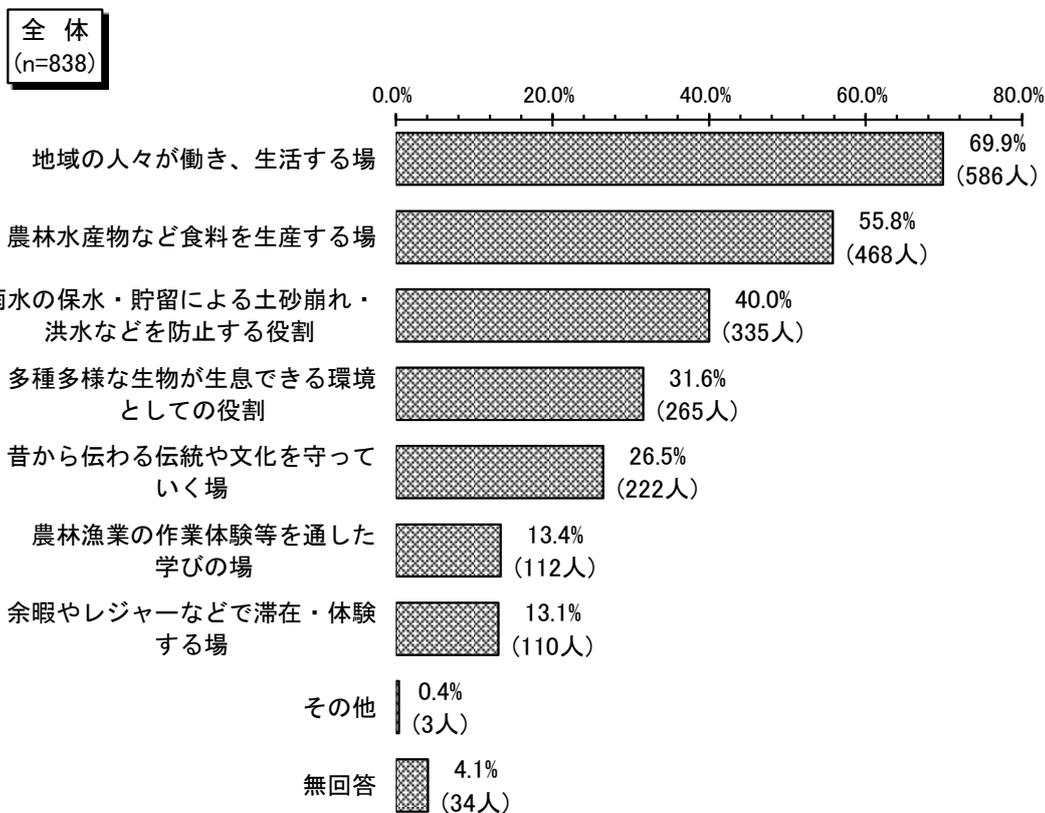
農林水産物の購入や食生活で実践していることは、「国産の食材を積極的に購入する」(65.3%)が多く、7割弱となっている。以下、「地元産の食材を積極的に購入する」(56.9%)と「食べ残しや使い残しを減らすなど食品ロスを減らす」(55.3%)が6割弱、「一日の食事バランスを考えた食生活を実践する」(39.7%)が約4割などとなっている。

※【参考】有機農産物・特別栽培農産物とは

どちらも農業による環境への負担をできる限り低減して栽培された農産物のこと。有機農産物は、化学的に合成された農薬や肥料を使用しないこと等により栽培されたもの、特別栽培農産物は、化学的に合成された農薬や肥料の使用量をこれまでより半分以下に減らして栽培されたもののこと。

(2) 農山漁村の役割として期待すること

問 22 あなたが本県の農山漁村の役割として期待することは何ですか。
あてはまるものに3つまで○をつけて下さい。



農山漁村の役割として期待することは、「地域の人々が働き、生活する場」(69.9%)が最も多く、約7割を占めている。以下、「農林水産物など食料を生産する場」(55.8%)が6割弱、「雨水の保水・貯留による土砂崩れ・洪水などを防止する役割」(40.0%)が約4割、「多種多様な生物が生息できる環境としての役割」(31.6%)が約3割などとなっている。

1 1. 福島県総合教育計画について

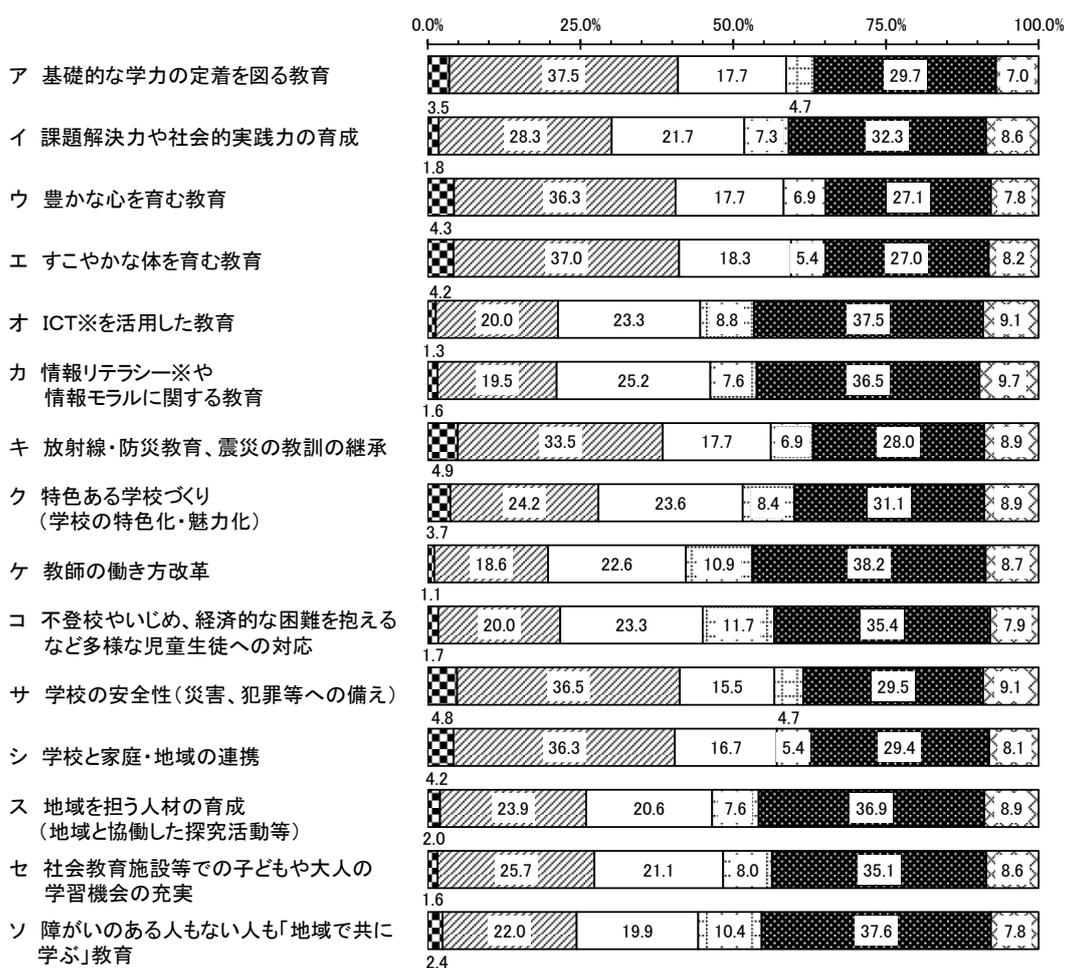
(1) 福島県の教育に対する評価

問 23 次にあげたA～Cの項目について、あなたはどのように感じていますか。

A 福島県の教育に対する評価

それぞれ1～5の中で、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 全体 (n=838)
- 十分実践されている
 - どちらかといえば実践されている
 - どちらかといえば実践されていない
 - 実践されていない
 - わからない
 - 無回答



「十分実践されている」と回答した人の割合は、〈キ 放射線・防災教育、震災の教訓の継承〉(4.9%)と〈サ 学校の安全性(災害、犯罪等への備え)〉(4.8%)が高くなっている。

「十分実践されている」と「どちらかといえば実践されている」を合わせた『実践されている』計の割合をみると、〈サ 学校の安全性(災害、犯罪等への備え)〉(41.3%)、〈エ すこやかな体を育む教育〉(41.2%)、〈ア 基礎的な学力の定着を図る教育〉(41.0%)、〈ウ 豊かな心を育む教育〉(40.6%)、〈シ 学校と家庭・地域の連携〉(40.5%)が約4割で高くなっている。

一方、「実践されていない」と「どちらかといえば実践されていない」を合わせた『実践されていない』計の割合は、〈コ 不登校やいじめ、経済的な困難を抱えるなど多様な児童生徒への対応〉(35.0%)が最も高く、4割弱となっている。次いで、〈ケ 教師の働き方改革〉(33.5%)、〈カ 情報リテラシーや情報モラルに関する教育〉(32.8%)、〈オ ICTを活用した教育〉(32.1%)、〈ク 特色ある学校づくり(学校の特色化・魅力化)〉(32.0%)、〈ソ 障がいのある人もない人も「地域で共に学ぶ」教育〉(30.3%)が3割台で続いている。

※【参考】ICTとは

Information and Communication Technology の略で、情報通信技術のこと。

情報リテラシーとは

情報機器やITネットワークを活用して、情報・データを管理、活用する能力のこと。

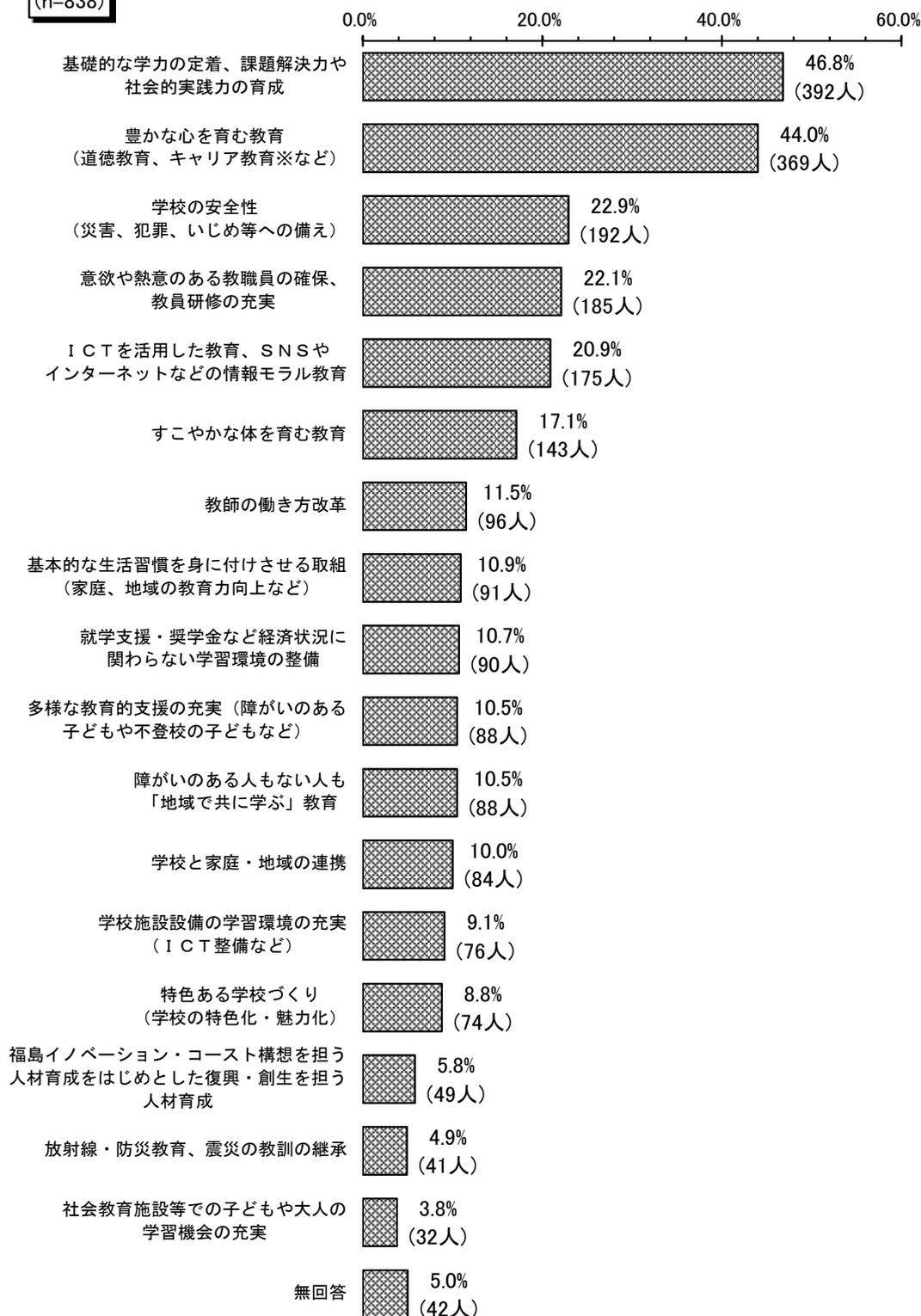
(2) 重要だと思う教育施策

問 23 次にあげたA～Cの項目について、あなたはどのように感じていますか。

B 今後の教育施策で特に重要だと思うものを次の中から選んでください。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

全体
(n=838)



重要だと思う教育施策は、「基礎的な学力の定着、課題解決力や社会的実践力の育成」(46.8%)が最も多く、半数弱を占めている。以下、「豊かな心を育む教育(道德教育、キャリア教育など)」(44.0%)が4割強、「学校の安全性(災害、犯罪、いじめ等への備え)」(22.9%)と「意欲や熱意のある教職員の確保、教員研修の充実」(22.1%)、「ICTを活用した教育、SNSやインターネットなどの情報モラル教育」(20.9%)が2割強などとなっている。

※【参考】キャリア教育とは

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てること。

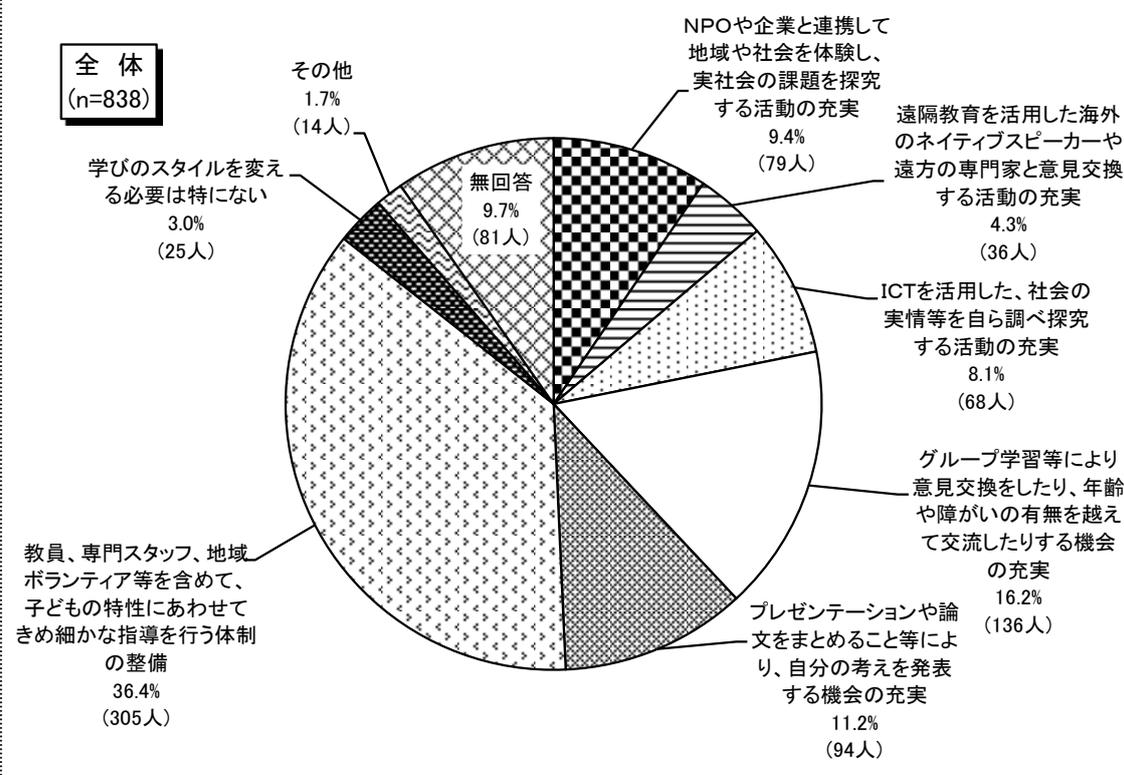
(3) 今後取り入れていくべき学び方

問 23 次にあげたA～Cの項目について、あなたはどのように感じていますか。

C 学校では基礎学力の定着に加えて、子どもたちが変化の激しい社会で未来を担っていく上で必要な力を養成する必要があります。

今後より一層取り入れていくべきと考える学び方を選んでください。

あてはまるもの1つに○をつけてください。



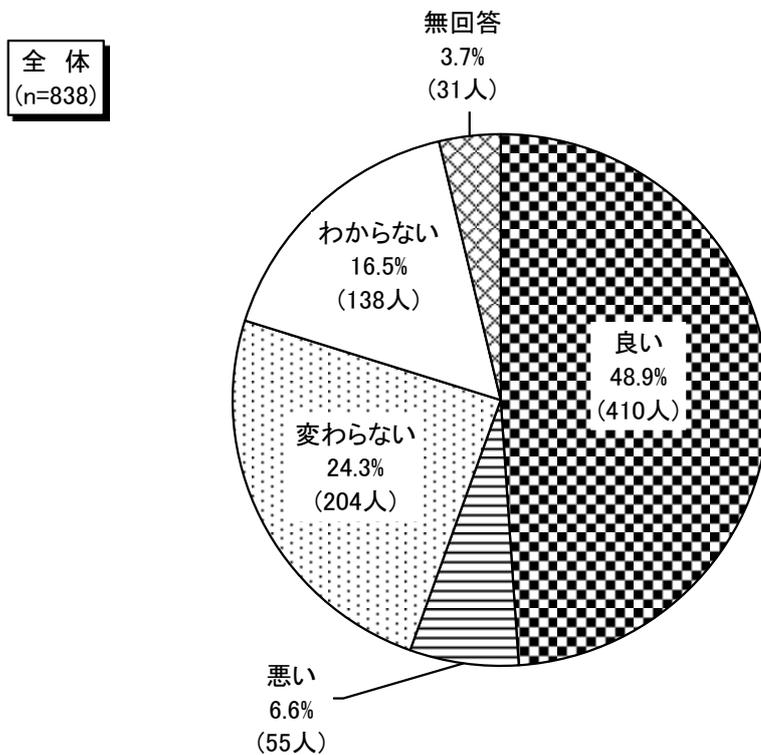
今後取り入れていくべき学び方は、「教員、専門スタッフ、地域ボランティア等を含めて、子どもの特性にあわせてきめ細かな指導を行う体制の整備」(36.4%)が最も多く、4割弱となっている。以下、「グループ学習等により意見交換をしたり、年齢や障がいの有無を越えて交流したりする機会の充実」(16.2%)が2割弱、「プレゼンテーションや論文をまとめること等により、自分の考えを発表する機会の充実」(11.2%)が約1割などとなっている。

1 2. 地域社会の安全・安心（治安）について

（1）居住地域の治安状況

問 24 現在あなたが住んでいる地域（仮設住宅・借り上げ住宅も含む）の治安は良いと思いますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。



現在の居住地域の治安状況が「良い」（48.9%）と思う人は約半数を占めている。一方、治安状況が「悪い」（6.6%）と思う人は1割未満にとどまっている。

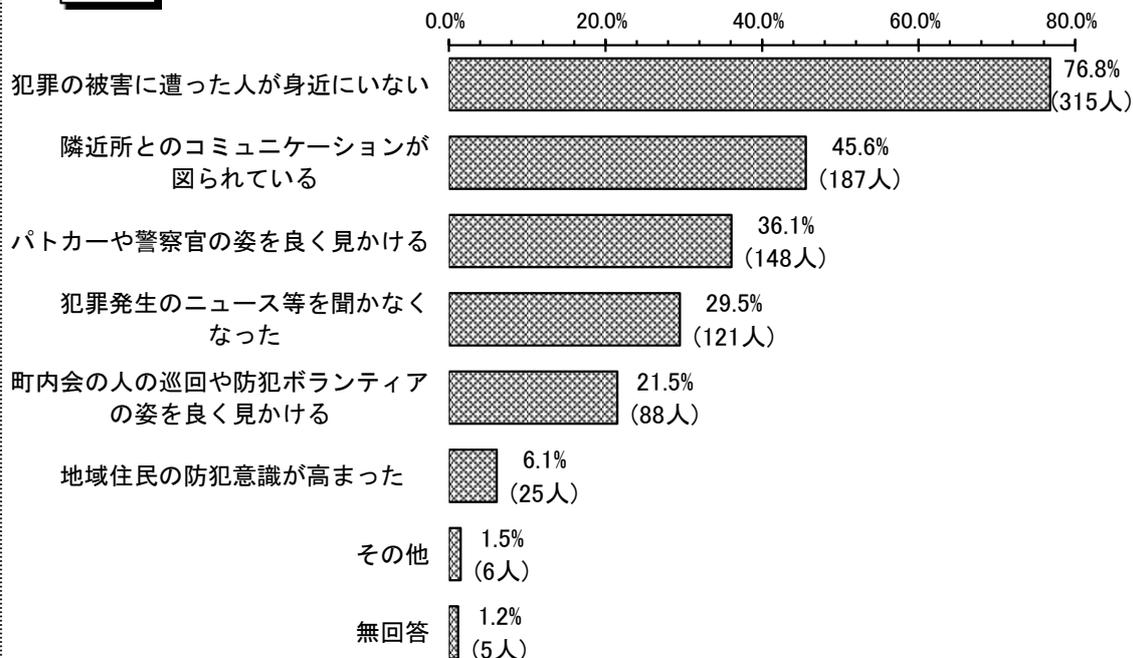
(2) 治安状況が良いと思う理由

(問 24 で、「1 良い」とお答えの方にお尋ねします。)

問 24-1 問 24 で、良いと思う理由は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

全体
(n=410)



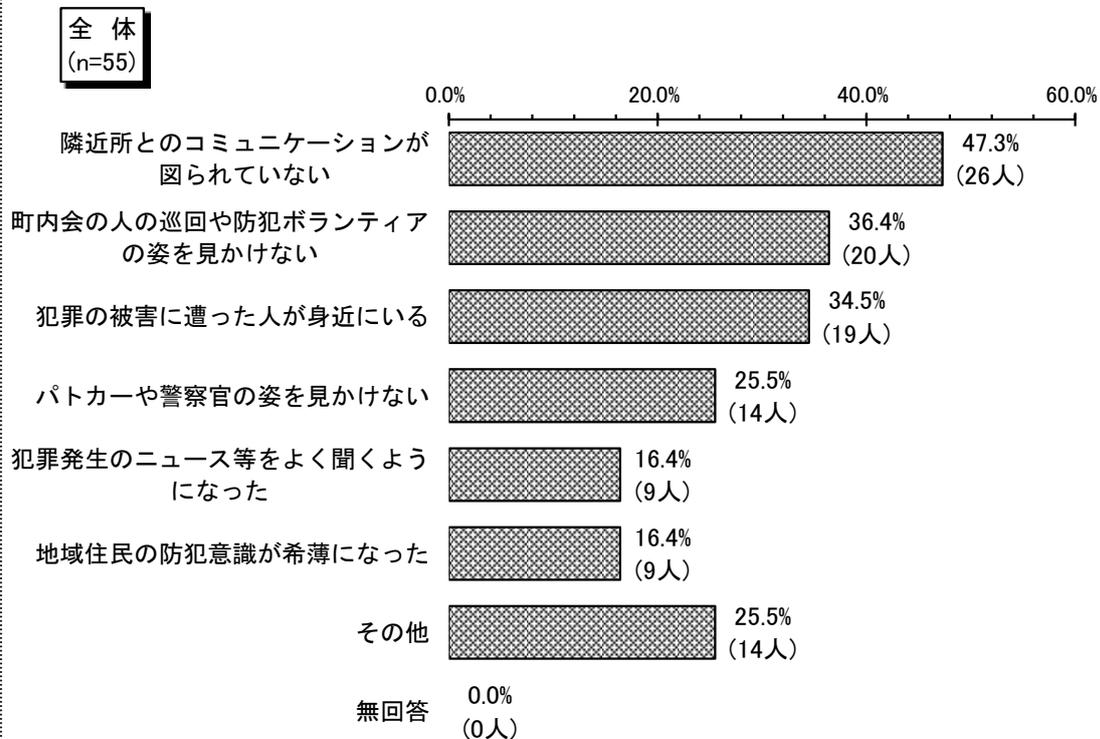
治安状況が良いと思う理由は、「犯罪の被害に遭った人が身近にいない」(76.8%)が最も多く、8割弱を占めている。以下、「隣近所とのコミュニケーションが図られている」(45.6%)が半数弱、「パトカーや警察官の姿を良く見かける」(36.1%)が4割弱、「犯罪発生のニュース等を聞かなくなった」(29.5%)が約3割などとなっている。

(3) 治安状況が悪いと思う理由

(問 24 で、「2 悪い」とお答えの方にお尋ねします。)

問 24-2 問 24 で、悪いと思う理由は何ですか。

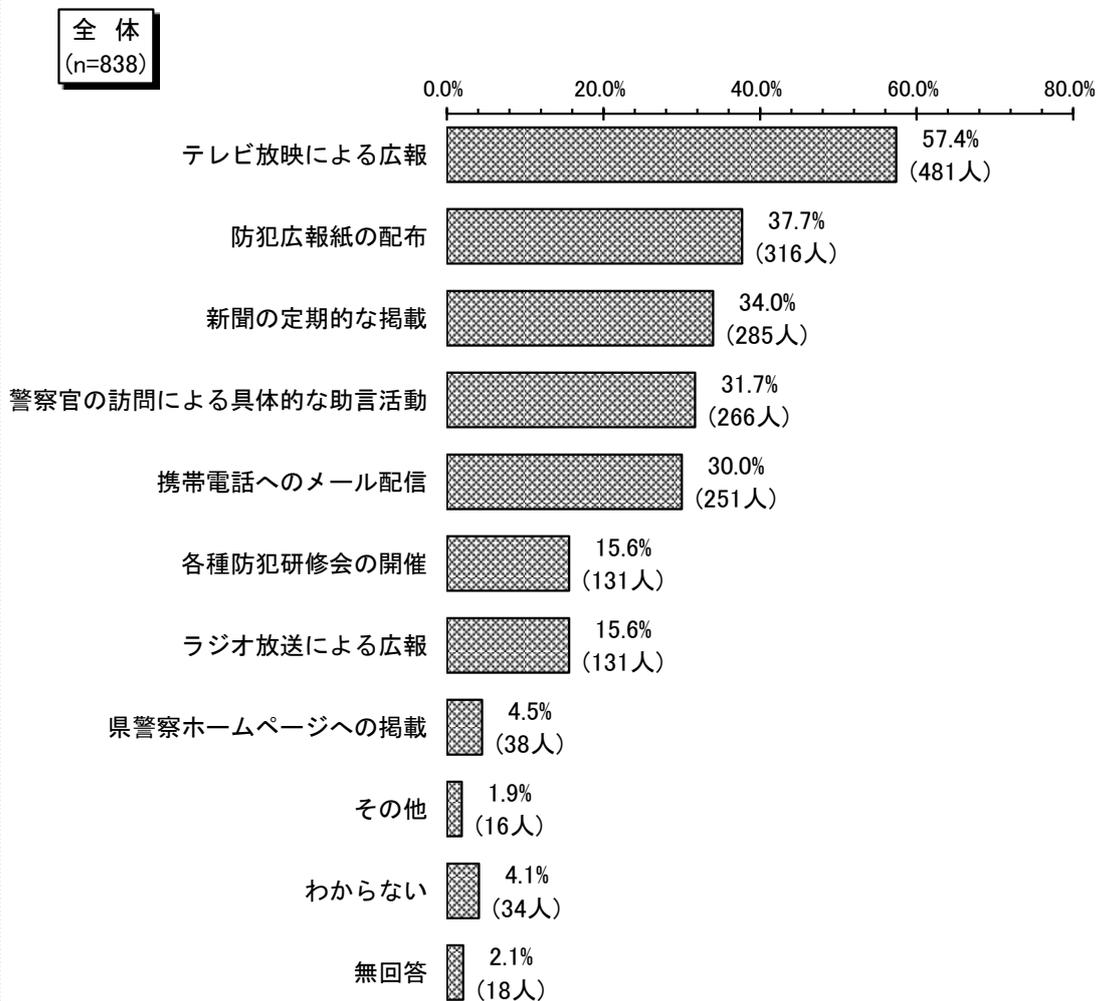
あてはまるもの3つまで○をつけてください。



治安状況が悪いと思う理由は、「隣近所とのコミュニケーションが図られていない」(47.3%)が最も高く、半数弱を占めている。以下、「町内会の人や巡回や防犯ボランティアの姿を見かけない」(36.4%)が4割弱、「犯罪の被害に遭った人が身近にいる」(34.5%)が3割強などとなっている。

(4) 犯罪発生状況等の情報提供方法

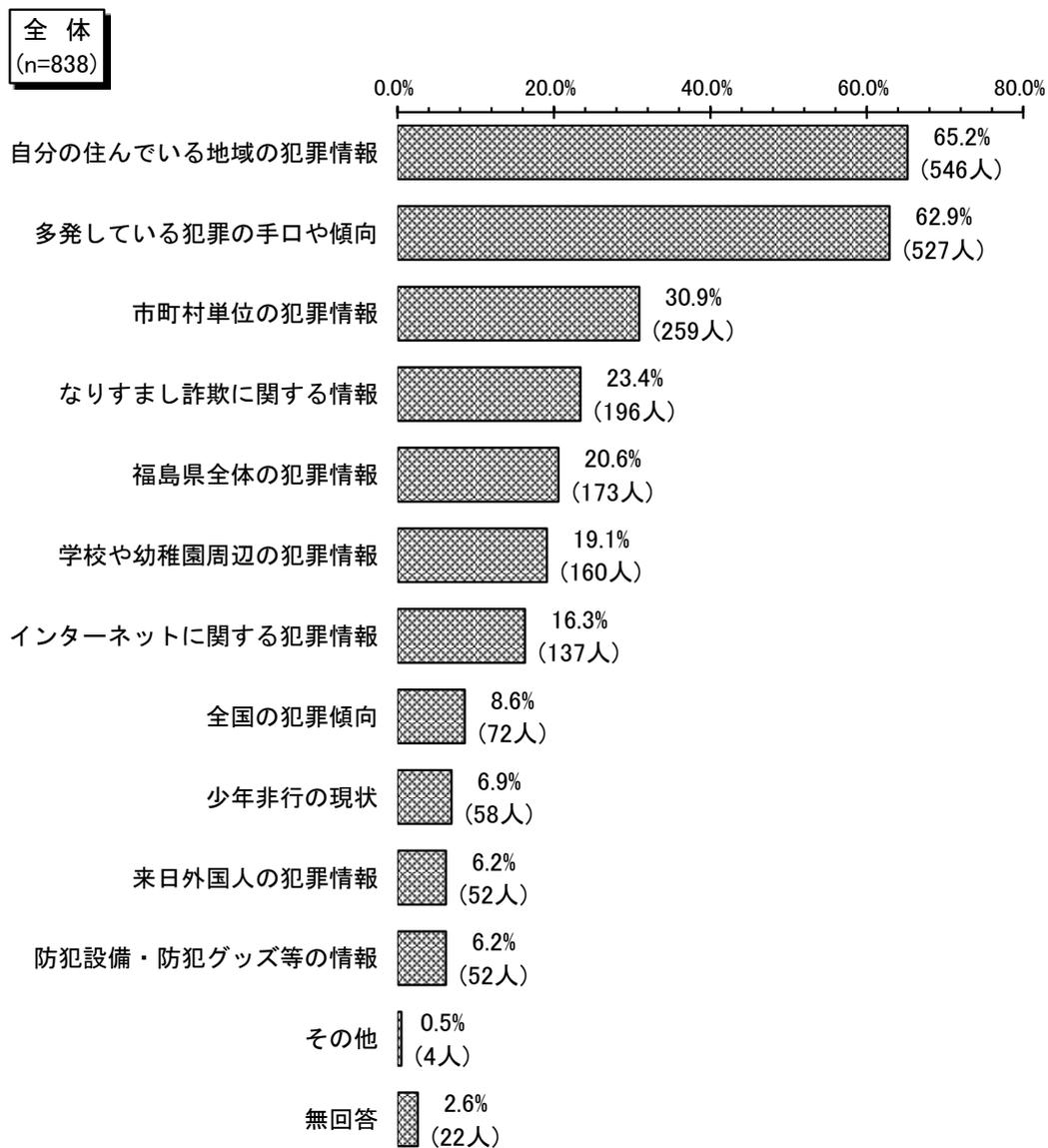
問 25 犯罪の発生状況や犯罪を未然に防止する方法等の情報について、
どのような形で提供されるのがよいと思いますか。
あてはまるもの3つまで○をつけてください。



犯罪発生状況等の情報提供方法については、「テレビ放映による広報」(57.4%)が最も多く、6割弱となっている。以下、「防犯広報紙の配布」(37.7%)が4割弱、「新聞の定期的な掲載」(34.0%)が3割強、「警察官の訪問による具体的な助言活動」(31.7%)と「携帯電話へのメール配信」(30.0%)が約3割などとなっている。

(5) 犯罪に関して知りたい情報

問 26 犯罪に関するどのような情報が知りたいですか。
あてはまるもの3つまで○をつけてください。



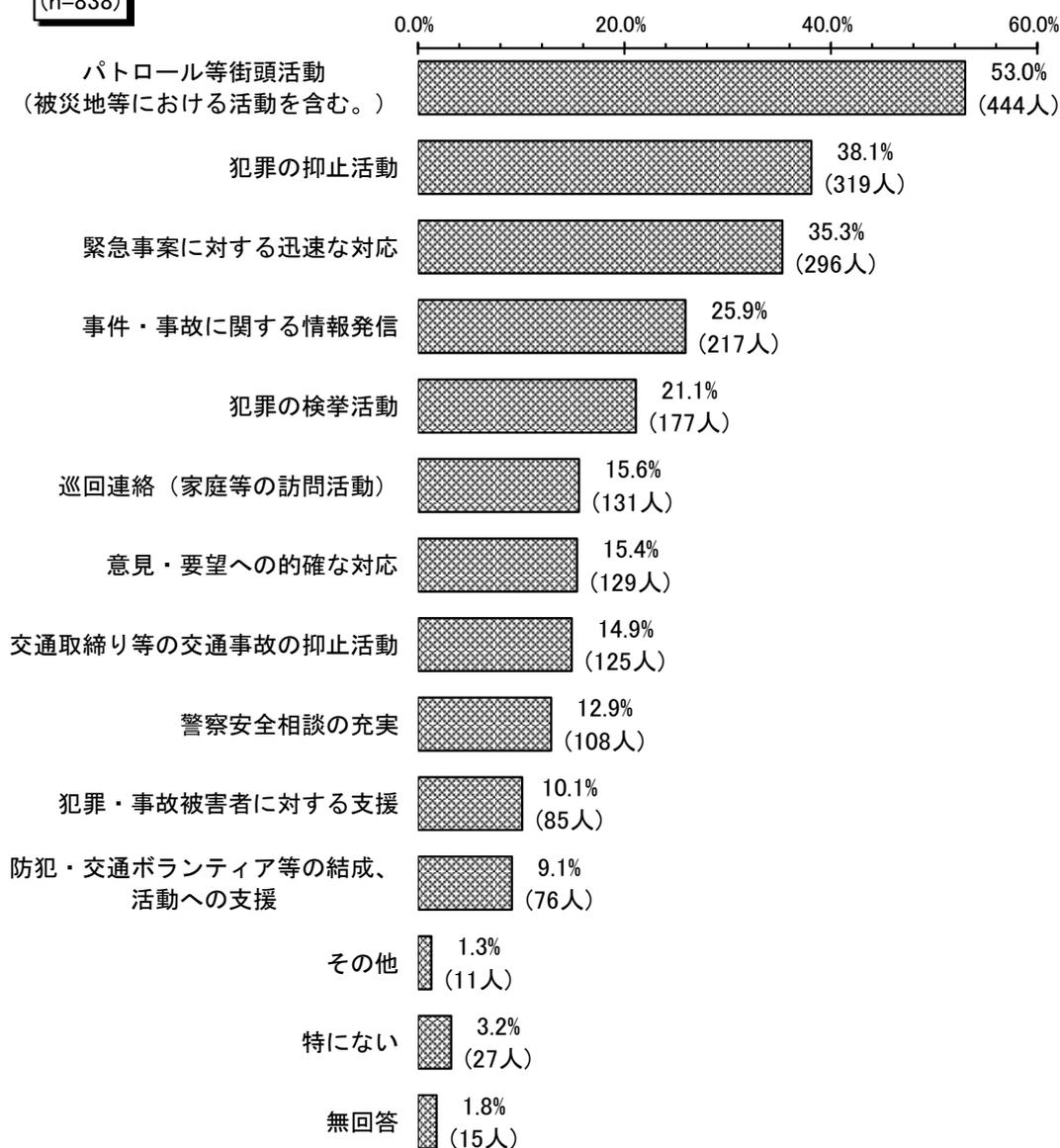
犯罪に関して知りたい情報は、「自分の住んでいる地域の犯罪情報」(65.2%)が最も多く、7割弱を占めている。次いで、「多発している犯罪の手口や傾向」(62.9%)が6割強で続いている。以下、「市町村単位の犯罪情報」(30.9%)が約3割、「なりすまし詐欺に関する情報」(23.4%)が2割強などとなっている。

(6) 警察に強化してほしい活動

問 27 安全・安心な地域社会をつくるため、警察にどのような活動を強化してほしいと考えますか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

全体
(n=838)



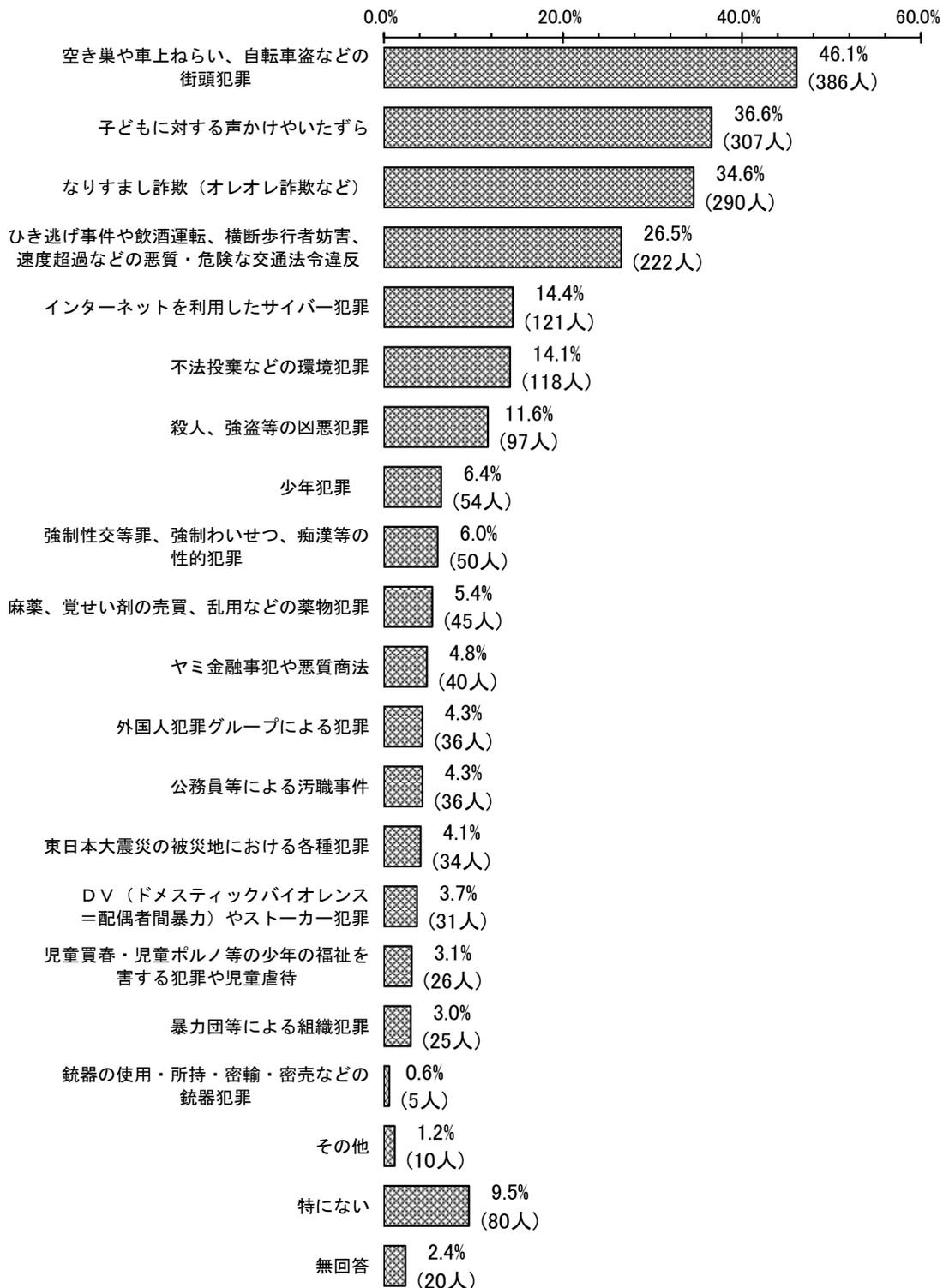
警察に強化してほしい活動は、「パトロール等街頭活動 (被災地等における活動を含む。)」(53.0%) が最も多く、過半数を占めている。以下、「犯罪の抑止活動」(38.1%) が約4割、「緊急事案に対する迅速な対応」(35.3%) が4割弱、「事件・事故に関する情報発信」(25.9%) が3割弱などとなっている。

(7) 重点的に取り締まってほしい犯罪

問 28 現在お住まいの地域で最も不安を感じ、今後重点的に取り締まってほしい犯罪は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

全体
(n=838)



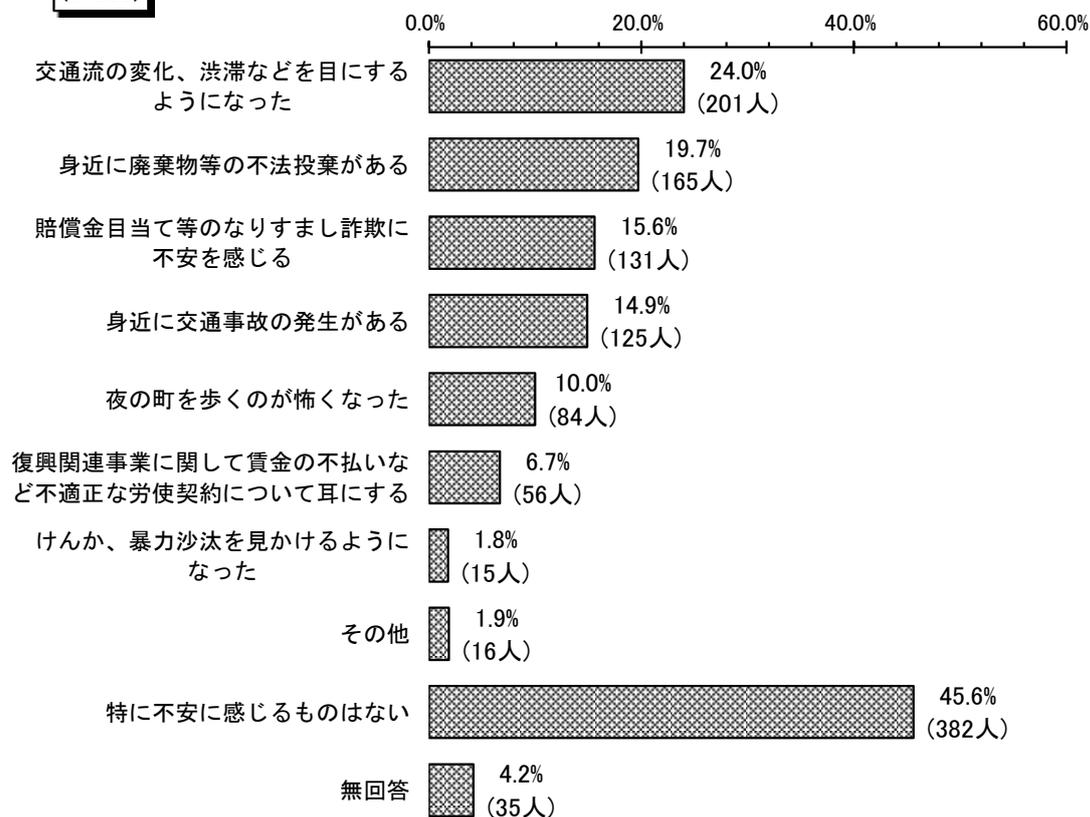
重点的に取り締まってほしい犯罪は、「空き巣や車上ねらい、自転車盗などの街頭犯罪」(46.1%)が最も多く、半数弱を占めている。以下、「子どもに対する声かけやいたずら」(36.6%)が4割弱、「なりすまし詐欺(オレオレ詐欺など)」(34.6%)が3割強、「ひき逃げ事件や飲酒運転、横断歩行者妨害、速度超過などの悪質・危険な交通法令違反」(26.5%)が3割弱などとなっている。

(8) 身近に感じる不安

問 29 震災から9年が経過しましたが、復興に伴い治安面で身近に感じる不安は何ですか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。

全体
(n=838)



身近に感じる不安については、「交通流の変化、渋滞などを目にするようになった」(24.0%)が最も多く、2割強となっている。次いで、「身近に廃棄物等の不法投棄がある」(19.7%)、「賠償金目当て等のなりすまし詐欺に不安を感じる」(15.6%)、「身近に交通事故の発生がある」(14.9%)、「夜の町を歩くのが怖くなった」(10.0%)が1割台で続いている。

なお、「特に不安を感じるものはない」(45.6%)が半数弱を占めている。